
岐阜県立恵那農業高等学校

学校長 伊藤 昭嘉

学校住所 岐阜県恵那市大井町2625番地の17 電話 0573-26-1251

1 会議名 恵那農業高等学校 学校運営協議会 (第3回)

2 開催日時 令和4年2月10日(木) 書面開催

3 参加者 委員 大宮 康一 岐阜大学地域協学センター准教授
白田 浩通 岐阜県立国際園芸アカデミー教授
岡庭 隆 保護司
小椋日南恵 えな「たべる」プロジェクトアドバイザー
熊崎 健一 恵那市立恵那西中学校長
西尾 浩余 恵那市立大井第二小学校長
加納 夕子 保護者(卒業生)代表
田口 綾乃 保護者(在校生)代表

学校側 伊藤 昭嘉 校長
大矢 英樹 教頭
牧野 久智 事務長
水野 歩 教務主任
安藤 正徳 進路指導部長
河島 隆浩 生徒指導部長
波多野祥子 特別活動部長
野村 祐作 農場長

4 会議の概要(協議事項及び委員からの意見・要望・評価等)

1) スクール・ポリシーの承認について

原案の通り承認

2) 今年度の学習指導の取組について

意見1: 一人一人のもつ可能性を引き出し、個性を最大限伸ばすことについて本校は生徒の8割が授業方法等肯定的に評価している。

意見2: 一人一台端末が導入され、各校種で積極的に活用されている。小、中、高の各学校段階の活用状況を交流する機会を設けたい。

意見3: 研究授業、公開授業に多くの教職員が参加されており、客観的に観た他者評価を授業改善に取り入れていることはよい。

3) 今年度の進路指導の取組について

意見1: 重点目標にあるコミュニケーション能力の育成は、どんな取組を行い、どんな評価であったかのかが分かりにくい。

意見2: コロナ禍においても適切な進路指導がなされ、地元産業を支える人材育成において成果を上げている。

意見3: 事業所における本校の社会的な評価は高い水準にある教職員の指導と、生徒諸君の自助努力の成果である。

4) 今年度の生徒指導及び教育相談の取組について

意見1：コロナ感染拡大での休校や感染防止対策を進める中で、ケアの必要な生徒も増加しているのではないかと懸念している。生徒が元気に学校生活を送れるよう、引き続きお願いしたい。

意見2：重点目標の設定と目標達成のための具体的取組により、生徒の社会性、コミュニケーション能力の育成が図られている。

5) 今年度の特別教育活動の取組について

意見1：特別活動は職員の負担が大きく、働き方改革の視点からも見直しが必要な部門である。そうした視点での取組を検討する必要がある。

意見2：コロナ禍の制限、制約の中でこそ、生徒が主体的に考え、諸活動を創造する力を高めた成果を大いに評価したい。

6) 今年度の農場運営の取組について

意見1：現状分析、目標、取組、評価、改善策が項目立てて整理されており、分かりやすい。

意見2：地域課題の発見、解決する学びの推進は、すばらしい取組である。そのことが本校にとどまらず中学生や小学生、そして市へと発信され、恵那市全体の活性化につながることを期待する。

意見3：専門高校への進学を考える中学生にとっては、見聞きする以上に体験から学ぶことが多いので、さらに充実を図ってほしい。

5 会議のまとめ

第3回学校運営協議会は、第2回に続き、新型コロナウイルス感染防止のために書面開催とした。コロナ禍での本年度の教育活動並びに学校運営に対して、貴重な意見とともに、来年度に向けて新たな教育の可能性について提言が得られた。